

高度情報通信社会における学校教育の在り方

- 学校教育における情報活用の事例研究 -

小豆支部 研究部

1 はじめに

今日、会社や家庭においてインターネットや携帯電話の普及により、瞬時に情報を取り出したり発信したりできる時代になってきている。また、学校においても、ADSL等の高速通信回線の導入により、各教科のさまざまな領域でコンピュータやインターネットを利用できる場面が増加してきた。このような現代にあつて、情報を活用する能力を養うことは、高度情報通信社会に生きる子どもたちにとって、たいへん重要であり必要不可欠である。

そこで、上記のように研究テーマを設定し、各校の実態に応じて研究実践してきた。

2 研究の経過

(1) 第1回部会(4月26日)土庄町立土庄中学校

研究主題の決定
研究組織の決定
研究計画の決定

(2) 第2回部会(12月26日)池田町立池田中学校

実技研修
・池田中学校のコンピュータ室内及びコンピュータ機器・視聴覚機器の紹介
・ハードウェアメーカーより、ネットワーク対応授業支援ソフト、電子ボード、その他周辺機器の紹介
・ソフトウェアメーカーより、教育用ソフトの紹介と実践
情報交換

(3) 第3回部会(2月6日)池田町立池田中学校

研究授業
1年美術「デジタルアニメ制作」授業者 池田中学校教諭 岡下朋平
授業討議
本年度のまとめ
情報交換

3 各中学校の取り組み

(1) 土庄町立土庄中学校 (<http://www.dochu.ed.jp/>)

授業での活用状況
・社会・・・インターネットを使って調べ学習
・美術・・・デザイン分野で作品を制作
・技術・・・情報教育一般の指導
・学活・総合的な学習の時間・・・調べ学習とまとめ、メールのやりとり、自分史 等
コンピュータの環境整備
・12月に回線をADSL8Mに変更
・職員室内及びコンピュータ室とのネットワークを整備
Webページの管理
・行事の度に写真やトピックスを更新
・掲示板の書き込みの管理

- (2) 土庄町立豊島中学校 (<http://www.niji.jp/school/teshimaj/>)
- 授業での活用状況
- ・ 総合的な学習の時間・・・各グループでテーマ (郷土について , 食について など) にそって , 調べ学習 , 資料のまとめ , プレゼンテーション
- コンピュータの環境整備
- ・ コンピュータ室・職員室ともに回線をフレッツ A D S L に変更
 - ・ 無線 L A N の環境を整備中
- Web ページの管理
- ・ 行事予定などを中心に , 毎月更新
- (3) 池田町立池田中学校 (<http://www.kagawa-edu.takamatsu.kagawa.jp/ikedaj01/welcome.htm>)
- 授業での活用状況
- ・ 理科・・・音の波形を調べる , 天体のシミュレーション
 - ・ 美術・・・卒業アルバムづくり , 動画の編集 , デジタルアニメ制作 など
 - ・ 学活・総合的な学習の時間・・・調べ学習やまとめ
- コンピュータの環境整備
- ・ 8月にコンピュータ室内全てのコンピュータを最新の機種に交換
 - ・ 視聴覚機器 (プロジェクター , 電子ボード など) の導入
- (4) 内海町立内海中学校 (<http://www.niji.jp/school/utinoj01/>)
- 授業での活用状況
- ・ 美術・・・デザイン分野で作品制作
 - ・ 総合的な学習の時間・・・郷土の特産物や進路について調べ学習
- コンピュータの環境整備
- ・ 4月に回線をフレッツ A D S L 1.5 M に変更
 - ・ 7月に職員室内のネットワークを無線化し , 再構築
- Web ページの管理
- ・ 随時 , 最新情報を更新
 - ・ 掲示板の書き込みの管理
 - ・ 携帯電話用の Web ページを作成 , 随時更新 (<http://www.niji.jp/school/utinoj01/i/>)

4 今後の課題

通信回線の高速化やハード面での充実化により , いろいろな情報を入手しやすくなった反面 , 有害情報と出会う機会も多くなった。生徒の情報モラルを育成していく必要がある。指導をする側である教職員の校内研修の充実も課題の一つである。教科指導での活用について , もっと実践を重ねていきたい。各学校間においてコンピュータ環境に差があり , 足並みをそろえた実践がしづらい。研究部員間の情報交換や研修を重ね , 現在の環境を最大限に生かせるような独自の工夫が必要である。



(美術の授業風景 / 2月6日 池田中)